

部 会 だ よ り

源泉研究部会

「第251回研修会～源泉の具体的事例について」

西武信用金庫 岡本 晴彦

2月14日・に法人会館において第251回研修会が開催されました。今回は、中野税務署 平野審理官を講師としてお迎えし、各部会員から事前に出してもらった源泉に関しての質問事項から具体的な事例に基づいて、普段はとっつきにくい所得税法の条文を引用したり、所得税に関する「Q&A」・「解説書」を参考資料としたりして、たいへん解りやすく丁寧に法的解釈から税務処理の方法までを回答、解説して頂きました。

各部会員の業種の違いはあれ、質問事項や解説は、源泉実務に即したものであり、各部会員からの質問も多数でるなど熱の入った研修会となりました。



身近な問題だけに、皆様熱心に研修...

した。日頃、解らないことや疑問に思うことでも、きちんと調べたりせずにいたことをこういう機会に聞く事ができてとても参考になりました。

今後もこのような実務に即した研修会を開催し、税務知識を高めコンプライアンスを重視した実務処理をしていきたいと思ひます。

女性部会

日本の伝統『雅楽』に親しむ

女性部会は、2月11日と3月9日、美しき伝統の響き・雅楽の鑑賞会に総勢28名が参加しました。

2月11日は、こまばエミナースで、雅楽の伝承と普及のため、ニューヨーク・カーネギーホールをはじめ国内外で活躍する、瑞穂雅楽会主宰・三田徳明氏の解説付で『管絃』『舞楽』の演奏に浸りました。

又、3月9日は、めぐろパーシモンホールで、東儀秀樹氏が奏でる『古典と新しい音楽の出会い』と題して、第2部では、『プルトーニョの森』『光り降る音』など、7曲に身も心も、しばし千年以上もタイムスリップしたかのような一時を堪能しました。

今後も、賢明な女性として、大いに知的情操分野の開拓に取り組んで参りたいと思ひます。

プロフィール：東儀秀樹(雅楽師)



宮内庁式部職楽部の楽生科で雅楽を学び1986年に雅楽師となる。楽部では、筆策(ひちりき)を主に琵琶、鼓類、歌、舞、チェロを担当。1996年のデビューアルバム『東儀秀樹』は広くマスコミで紹介された。退職後は、宮中雅楽の継承者として日本の伝統文化の紹介とともに独自の音楽活動で古典雅楽を広めている。第42回日本レコード大賞 企画賞、都民栄誉賞など数多くの賞を受けている。2001年にはフランス親善大使など国際的にも活躍中。

部 会 員 募 集 中 !

『源泉研究部会』

(今年創立28周年を迎えました。条件は、従業員50人以上の法人であること。)

年8回、経理、人事、労務等に携わる皆様は大変お役に立つ研修会を開催しております。又、毎年好評を戴いております。春の管外研修会、秋の一泊管外研修会など、部会員同士の親睦会も盛んです。年会費は9,600円です。

『青年部会』

(若き企業のトップリーダーを目指すことを主眼に結成され、23年目を迎えました。年齢が50歳までの方なら男女どなたでも入会できます。)

年5回の研修会を企画しております。中でも毎年2月に行われる一泊管外研修会は、部会員自らが講師となり、毎年好評を戴いております。又、部会員同士のゴルフコンペ、社会貢献活動の一貫としての「中野まつり」にも参加しております。

毎年、全法連主催の「全国青年の集い」(本年は鹿児島で

只今、源泉研究部会・青年部会・女性部会では、会員を募集しております。

開催)にも多くの部会員が参加しております。年会費は6,000円です。

『女性部会』

(今年創立22年目を迎えました。女性の経営者、社員の方、どなたでも入会できます。)

毎年4回以上研修会を開催しております。又、管外研修会は、日頃なかなか行けないところを企画し、毎年絶賛を博しております。今まで、最高裁判所、東京証券取引所、首相官邸、四谷の福田家、伊豆長岡の三養荘、京都の桂離宮、修学院など企画し多くの方にご参加戴いて参りました。又、青年部会同様、「中野まつり」にも参加をし、社会貢献活動を展開しております。年会費は1,800円です。

多くの皆様方の新規ご加入をお待ち申し上げております。尚、詳細、申込の仕方につきまして、法人会事務局宛てにお気軽にご連絡願ひます。